

文学部A方式 I 日程・経営学部A方式 I 日程
GIS(グローバル教養学部) A方式

3 限 選択科目 (60 分)

科 目	ページ	科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～15	日 本 史	16～27	世 界 史	28～41
地 理	42～53	数 学	54～55	英 語 S	56～69

(注意事項)

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 志望学部・学科によって選択する科目・試験時間が決まっているので注意すること。

志望学部・学科	選択する科目
文学部(哲・日本文・史学科)・経営学部(経営学科)	政治・経済, 日本史, 世界史, 地理, 数学から 1科目選択
GIS(グローバル教養学部)	英語 S

4. 試験開始後の科目の変更は認めない。
5. 以下の科目について、志望学部・学科によって解答する問題番号が決まっているので注意すること。

科 目	志望学部・学科	解答する問題番号	そ の 他 注 意 事 項
数 学	文学部 (哲・日本文・史学科)	{I}, {II}, {文学部III}	<ul style="list-style-type: none"> ・解答を導く途中経過も書くこと。 ・解答はおもて面に記入すること(裏面は採点の対象にならない)。 ・その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。 ・定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
	経営学部 (経営学科)	{I}, {II}, {経営学部III}	

6. マークシート解答方法については、以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例

(2) 悪いマークの例

} 枠外にはみださないこと。
○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(数 学)

GIS(グローバル教養学部)を志望する受験生は選択できない。

受験学部により、解答する問題は以下の通り。

文学部は〔Ⅰ〕,〔Ⅱ〕,〔文学部Ⅲ〕

経営学部は〔Ⅰ〕,〔Ⅱ〕,〔経営学部Ⅲ〕

なお、指定された問題以外は採点の対象としない。

〔Ⅰ〕 a, b は実数とする。

- (1) $a + 2b = 10$ であるとき、 $a^2 + b^2$ のとりうる値の範囲を求めよ。
- (2) $a^2 + b^2 = 3$ であるとき、 $a + 2b$ のとりうる値の範囲を求めよ。
- (3) $a^2 + b^2 - 4a - 4b = -7$ であるとき、 $a^2 + b^2$ のとりうる値の範囲を求めよ。

〔Ⅱ〕 四面体 ABCD において、 $AB = \sqrt{2}$, $AC = 2$, $AD = \sqrt{3}$, $\angle BAC = 45^\circ$, $\angle CAD = 30^\circ$ であり、さらに $\cos \angle BAD = \sqrt{3} \cos \angle BCD$ が成り立つとき、つぎの問いに答えよ。

- (1) 辺 BD の長さを求めよ。
- (2) 四面体 ABCD の表面積を求めよ。
- (3) 四面体 ABCD の体積を求めよ。

〔文学部Ⅲ〕

大小2個のさいころを投げて、大きいさいころの出る目を a 、小さいさいころの出る目を b とするとき、2次式 $x^2 - 2(a-b)x + b^2$ を $f(x)$ とおく。このとき、つぎの問いに答えよ。

- (1) 方程式 $f(x) = 0$ が実数解をもたない確率を求めよ。
- (2) 方程式 $f(x) = 0$ が、異なる2つの実数解 α, β をもつときは $\alpha + \beta$ を、重解 α をもつときは α^2 を、実数解をもたないときは 0 を、得点とする。この得点の期待値を求めよ。

〔経営学部Ⅲ〕

$F(x) = ax^3 + bx^2 + cx + d$ とし、 $F'(x) = f(x)$ とおく。ただし、 a, b, c, d は実数の定数とする。このとき、つぎの問いに答えよ。

- (1) $f'(0) = -4$ のとき、 b の値を求めよ。
- (2) $F(2) - \int_0^1 f(x) dx = -7$, $\int_0^2 f(x) dx - F(1) = 1$ のとき、 d の値を求めよ。
- (3) (1)と(2)の条件がみたされ、さらに $F(x)$ を $x+1$ で割った余りが -3 であるとき、 $F(x)$ を求めよ。